

標準部隊編成(表)の検討事項・要因の整理

1 標準部隊編成表の作成趣旨

NBC 災害の態様別に、標準的な部隊編成を事前に想定しておくことにより、発災時の陣俗な部隊出動、効率的な部隊運用を図る。

2 作成方針

- (1) 各災害別に3～4種類程度
- (2) 活動任務(検知、除染、ホットゾーン救助など)、隊種別(救助、救急、指揮など)、隊数、携行 NBC 資機材を掲示
- (3) 気象、地勢、時間帯などの要因で隊数等を増減
- (4) その他詳細な災害状況は、現場指揮官などが個別に判断

3 活用のイメージ

(1) 想定条件(通報・聴取内容)

A 市内の研究所で生物剤の漏えいと思われる事故が発生。現場では 30 人程度の曝露者がいる模様。

(2) 上記の条件での出動部隊

(事前に策定されていた)次頁の「何らかの生物剤が漏えいし、概ね 20 人以上 50 人未満の曝露者が発生」の「第一次対応」の諸部隊に対して出動を指示

(3) 消防力が不足する場合の対応

A 市の(保有する)出動可能な部隊数が上記(2)の出動部隊を下回る場合は、その不足分を、①消防相互応援、②県内応援、③緊急消防援助隊の順番で検討し、関連消防本部、都道府県に要請する。

4 部隊編成表を区分する要因と検討事項

(1) 災害の種別

ア N 災害

・N 災害等分科会の検討結果を踏まえて検討

イ B 災害

・実災害の発生形態は？(初動時の情報内容は？)

・テロと事故で区分？(初動時に判別可能か？)

ウ C 災害

- ・物質が特定できる場合(事業所での漏えい事故など)と不明の場合(テロなど)に区分

(2) 対象(漏洩)物質の種別

- ・有毒性(危険度)による区分 高・中・低
- ・漏洩量による区分?
- ・爆発、引火の危険度による対応は、火災系マニュアルにより対応
- ・空気に対する比重は(より重い?軽い?)

(3) 傷病者数(曝露者数)

- ・20人単位程度で区分
- ・傷病程度も組み合わせ(重傷者5名以上など)
- ・危険度と組み合わせで人数を変動?

例 危険度大の物質漏えい事故なら5人

危険度小の物質漏えい事故なら20人 は同一編成表で対応

(4) 風力、湿度、温度等の気象条件

ア 風力

- ・例えば10メートル以上の場合、部隊を追加すべきか?(拡散危険) 又は減ずるべきか?(濃度低下)

イ 温度・湿度

- ・温度、湿度の差で危険度が変動する物質があるか?

(5) 発生時間帯(昼間・夜間)

- ・昼間、夜間、夕方など発生時間帯で部隊を増減させるべきか?
- ・オレンジブック(参考資料)では、夜間は空気の動きが少ないため区分設定距離を変動させている。
- ・夜間は、住民の対応・避難に時間がかかるなど

(6) テロの可能性の有無

- ・(二次トラップ)の取扱い
- ・爆発の可能性を考慮するか

(7) 医療機関の状況(災害対応力、現場からの距離 等)

- ・医療機関のNBC 災害に対する対応能力、災害現場からの距離 など

5 必要な任務の部隊

	任務	防護レベル	保有資機材	活動概要	備考
検知	簡易検知	A隊	簡易生物剤検知器 陽圧式防護服	・対象剤の推定 ・活動区域内の警戒 ・初動時のホットゾーンの設定	
	検知	A隊	生物剤検知器 陽圧式防護服 陽圧式車両1以上	・対象剤の同定 ・対象区域内の警戒 ・ホットゾーンの設定と変更	・検知ロボット保有の場合は、必要に応じて遠隔検知を行う。
除染	除染 (小規模)	B隊	空気呼吸器 化学防護服 小型除染テント	・主に50人以下傷病者の除染 ・活動隊員の除染 ・除染順位の決定	
	除染 (大規模)	B隊	空気呼吸器 化学防護服 大型除染システム	・主に50名以上の傷病者の除染 ・活動隊員の除染 ・除染順位の決定	
救助	ホットゾーン	A隊	陽圧式防護服	・ホットゾーン内からの傷病者救助 ・ホットゾーン内での安全管理 ・ホットゾーンでのトリアージ	
	ウォームゾーン	B隊	空気呼吸器 化学防護服	・ウォームゾーン内での傷病者救助 ・ホットゾーン内の傷病者の引継搬送	
救急	現場管理	C隊	・防毒マスク	・搬送先医療機関決定 ・傷病者情報整理・搬送指示指示 ・その他救急現場を管理する事項	
	傷病者搬送	D隊		・医療機関への除染後傷病者搬送 ・医療機関の収容能力状況調査	
指揮	部隊指揮	C隊	・防毒マスク	・部隊運用・指揮 ・応援部隊要請 ・その他救急現場を管理する事項	・被災地管轄本部(又は管轄部隊)が担当
	指揮支援	C隊	・防毒マスク	・指揮活動に必要な情報収集 ・局面指揮 ・他機関との調整	・応援隊(又は同一本部の増援部隊)が担当
避難誘導	避難誘導	CD隊	・防毒マスク	・消防警戒区域内の住民の区域外への避難誘導	主に消防隊等が担当
	消防警戒区域警戒	D隊		・消防警戒区域内への進入統制	・消防力が不足している場合は、警察、消防団等に依頼する。
現場活動	傷病者搬送支援	BCD隊	・空気呼吸器又は防毒マスク ・化学防護衣 など	・活動現場内での傷病者の担架等による搬送	主に消防隊等が担当
	救護所運営支援	D隊		・現場救護所内での運営補助	